

目 次

— 上 卷 —

序 論

- § 1. 単独常微分方程式に対する指数函数表示…………… 2
- § 2. 偏微分方程式の解の指数函数表示…………… 7
- § 3. 任意系の解に対する指数函数表示…………… 15

第一部 解析的方法

第 I 章 ホモロジー的手法

- § 1. 位相加群の族…………… 18
- § 2. 基礎的なホモロジー定理…………… 27
- § 3. 加群の演算…………… 39

第 II 章 冪級数の空間における割り算とその余り

- § 1. 冪級数の空間…………… 55
- § 2. 行列の基底列…………… 61
- § 3. 基底列の安定化…………… 73
- § 4. p -分解 …………… 80

第 III 章 増大度を持った解析函数のコホモロジー

- § 1. 整型函数の空間…………… 95
- § 2. \mathcal{S} 型の空間における作用素 D_z …………… 102
- § 3. \mathcal{A} -コホモロジー …………… 114

§ 4.	\mathcal{M} -コホモロジーの自明性に関する定理	120
§ 5.	\mathcal{P} -行列と関連したコホモロジー	133

第IV章 基本定理

§ 1.	有限型 \mathcal{P} -加群の諸性質	150
§ 2.	局所 p -作用素	166
§ 3.	作用素 \mathcal{D} に対する基本不等式	177
§ 4.	ネーター作用素	192
§ 5.	基本定理	206

第二部 定数係数微分方程式

第V章 線形空間と一般函数

§ 1.	線形空間族の極限移行	220
§ 2.	汎函数空間	234
§ 3.	フーリエ変換	256